

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23008	事業名	水道施設停電対策事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	11:水道事業会計
		基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出
		施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給			項	01:建設改良費
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト			目	01:施設費
事業期間	R 5 年度 ~ R 6 年度	主な根拠法令等	水道法				

評価分類	B1
------	----

担当部署	
部	上下水道部
課	上水道課 上水道工務G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	<p>市民生活や社会経済活動を支える重要なライフラインである水道施設について、近年の異常気象の頻発化・激甚化する風水害や発生が懸念されている大規模地震に対する施設の強靱化を図り、安定した水道水の供給を確保する必要がある。</p>	水道水の需要者である辺法寺町の住民	災害等による停電時の断水を回避し、辺法寺町の住民に対して、安定した水道水の供給を確保する。	辺法寺加圧ポンプ場に非常用発電設備を新たに設置し、災害等に対する施設の強靱化を図ることにより、停電時においても安定した水道水の供給を確保する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画		○非常用発電機室建築工事 ○建築工事監理業務委託 ○非常用発電設備設置工事	○テレメータ設置工事		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		転用を予定していた既設発電機の故障により、設計変更が必要となり、工事発注に遅れが生じ、繰越した。 【令和6年3月末進捗率】 非常用発電機室建築工事 38% 建築工事監理業務委託 71% 非常用発電設備設置工事 30%			
計画額	事業費	国・県支出金		82,000千円	14,780千円	11,000千円
		地方債				
		その他				
		一般財源		82,000千円	14,780千円	11,000千円
決算額	事業費	国・県支出金			14,780千円	
		地方債				
		その他				
		一般財源			14,780千円	
①期間内計画額(R4-7)		93,000千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額	93,000千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	82,000千円
次年度への繰越額	67,220千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	水道施設停電対策事業の進捗率	実施済み事業費／総事業費	活動	%	計画値			88	100	
					実績値			16		
					計画値					
実績値										

⑤ 進捗 度合 (C)	評価理由	
	C	非常用発電機室建築工事及び非常用発電設備設置工事ともに、転用を予定していた既設発電機の故障により設計変更が必要となり、工事発注が遅れ、工期を確保するため繰越した。
あまり進んでいない		

事業の対象	事業の目的
水道水の需要者である辺法寺町の住民	災害等による停電時の断水を回避し、辺法寺町の住民に対して、安定した水道水の供給を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)		事業の進捗度合を踏まえた課題事項
繰越工事の進捗を図り、早期に完成させ令和6年度のテレメータ設置工事に影響が出ないようにする必要がある。 また、繰越の原因となった転用予定であった既設発電機の故障を事前に発見できなかったことから、緊急時に迅速かつ安全に必要な電気が確保できるよう、他の発電機についても適切な維持管理を行っていく必要がある。		

⑦ 事業 の展 開 (A)	方向性		
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する	
	改善・見直し内容		
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの	
	中央監視盤で辺法寺加圧ポンプ場の非常通報が把握できるようにテレメータを設置し、危機管理体制の拡充を図る。 また、発見できにくい故障や不具合等を事前に発見できるよう、全ての非常用発電機において停電時と同じ状態にした負荷試験を実施した維持管理を行っていく。	整備した非常用発電設備の更新費用を可能な限り抑制できるよう、予防保全型の適切かつ計画的な維持管理を行う。	

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		C		
事業展開		継続(現状維持)		

1次評価者	上下水道部 上水道課 上水道工務GL 高沢 直
最終評価者	上下水道部 上水道課長 松永 政司